

図書館だより（千葉点字図書館）

2024年(令和6年)8月号（通巻第457号）

編集・発行 社会福祉法人 千葉県視覚障害者福祉協会
視覚障害者総合支援センターちば
千葉点字図書館

〒284 - 0005 千葉県四街道市四街道1丁目9番3号

電話：043-424-2588

E-Mail (貸出)：kasidasi@tisikyo.jp

目次

1. 高橋^{みのる} 実さんの思い出
2. お知らせ
 - ・センター休館日
 - ・施設公開行事「夏休み！見えない世界を体験しよう！」について
 - ・用具部から 料理教室開催のお知らせ
 - ・SDカードサービスについて
 - ・図書館だよりの利用について
 - ・寄贈資料のご案内
3. 新入図書を紹介
4. おすすめ図書の紹介
5. 墨字図書出版情報（朝日新聞 2024. 7. 20）
*記事の内容については、著作権の関係で割愛しています。
6. ニュース・新聞記事から
 - ・視覚障害者8割生理に悩み（千葉日報 日刊 2024. 3. 27）
 - ・視覚障害者のニュースデスクに期待（朝日新聞 2024. 4. 27）
 - ・障害者が博物館など利用しやすくするために研究する（朝日新聞 2024. 6. 5）
 - ・パラリンピック開幕まで50日 大会への思いは（朝日新聞 2024. 7. 9）*記事の内容については、著作権の関係で割愛しています。
7. 地域情報
 - ・夏の暑さから体を守ろう（ゆるり 2024年7-8月号）*記事の内容については、著作権の関係で割愛しています。

1. 高橋實さんの思い出

所長 川崎 弘

8月を迎えました。皆様いかがお過ごしでしょうか。お変わりございませんか。

8月は8月9日の長崎原爆忌があるため私にとっては特別な月です。

長崎は旧盆ということもありしみりと過ごす時間を大切にしたいと思っています。

今年に入り、私どもにとって大切なお二人の方をお見送りしました。

お一人は3月22日に急逝された高橋實様です。もうお一人は6月1日に急逝された岡本博美様です。

お二方の思い出をと思ったのですがとても小欄では書ききれませんので今回は高橋實様の思い出を記します。

7月7日、都内のホテルグランドヒル市ヶ谷においてしめやかに挙行された高橋實様のお別れ会に参列してきました。猛暑のなか、200名の方とともにお別れをしました。皆さんに慕われていた様子がよく伝わる温かな会でした。これよりかつての呼び名で實さんと書かせていただきます。

私と實さんの出会いは日点の職員となった1986年です。後年立ち上げられた法人のもとである日本盲人福祉研究会（私たちはもっぱら文月会と呼んでいました）は当時日点内に置かれていました。

雑誌『視覚障害—その研究と情報—』の発送作業は就業後若手の職員が手伝っていました。

当時、實さんは点字毎日の記者でしたが翌1987年、盲学生情報センターを開設されました。

東京都心身障害者センターで相談員をされていた田中徹二氏（後に日点館長、理事長を歴任し現会長）とともに夜な夜な日点での酒盛りは続きました。私のようなものにも「川崎君、いま筑波の附属盲で小学部の教員を探しているからいつてみなよ、話しとくから」みたいな話をときどきいただきました。

1994年に施設名を「視覚障害者支援総合センター」と改称され、2年後に社会福祉法人の認可を受け理事長となりました。この名称、どこかで聞いたような名称ですね。私どもは2003年に「千葉点字図書館」から「視覚障害者総合支援センターちば」としましたが点字毎日でもまちがわれて訂正記事をお願いしたことがあります。實さんは誰に付度することもなく無謀とも思われる人生を過ごされました。

世界的なヴァイオリニストの^{わなみたかよし}和波孝禧氏が挨拶で「視覚障害があるからこれくらいいいではなく、あるからこそ超一流をめざさねば」ということを教えられたとおっしゃっていました。彼らしいなあと思いました。

苦学され、ご自身も就職浪人をしてながら大学の門戸開放、就労支援に駆け抜けられた人生でした。實さん、まだやりたいことはいっぱいあったでしょうが、育てられた多くの後輩が頑張っていますよ。安らかにお休みください。

8月ですのでちょっとしみりしてしまいました。

多くの皆様に支えられ、私たち職員一同、これからも、これまで以上に皆様に利用していただける施設づくりを目指しますので今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

2. お知らせ

センター休館日

8月の休館日は次のとおりです。

- 2日（金） 図書整理日（貸出の対応を終日休止）
- 13日（火） 夏期休業
- 14日（水） 夏期休業
- 15日（木） 夏期休業
- 17日（土） 施設公開行事の関係で休館
- 23日（金） 職員会議のため13時半以降休館

皆さまにはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

施設公開行事「夏休み！見えない世界を体験しよう！」について

8月24日（土）に四街道市の小学生を対象に公開イベントを開催します。

完全予約制のイベントです。第3土曜日は通常であれば開館しておりますが、第4土曜日にイベント開催のため第3土曜日は休館とさせていただきます。ご了承ください。

用具部から 料理教室開催のお知らせ

昨年、初開催をして好評をいただきました「やさしい手料理キッチン」と用具部のコラボ企画、料理教室を今年も開催いたします。

日にち：9月5日（木）

場所：視覚障害者総合支援センターちば3階

内容：9/1「防災の日」にちなみ、【簡単食材、材料で手軽に作れる美味しい料理】をテーマに開催

午前、午後6人ずつの完全予約制

参加費：1,500円（当日徴収）

申込受付開始日：7月29日（月）

申込方法：用具部までお電話、LINE、直接対面にて

①お名前 ②電話番号 ③午前、午後のご希望 ④付き添いの有無をお知らせください。

追って詳細をお知らせいたします。

皆様のご応募お待ちしております。

SDカードサービスについて

夏季休業前にSDカードを利用してみませんか。PTR3やリンクポケットを利用して図書を聞いている方でSDカードを利用したことがないという方も是非この機会にいかがでしょうか。ご自身のSDカードを送付いただければ5タイトルまでダウンロード可能なコンテンツをこちらでダウンロードいたします。

また、6月号に掲載した「旅する文学」千葉、茨城、埼玉篇から選んだ10作品も8月31日まで貸出が可能です。

SDカードのダウンロード、貸出については貸出担当（電話043-424-2588 [メール kasidasi@tisikyo.jp](mailto:kasidasi@tisikyo.jp)）、

使用方法についてはIT支援（電話043-424-2546 [メール its@tisikyo.jp](mailto:its@tisikyo.jp)）までご連絡ください。

図書館だよりの利用について

図書館だよりは、現在CDでの貸出、図書館ホームページにてPDFでの掲載、サピエ図書館でのダウンロード、メーリングリストへの登録という4種類の方法で利用が可能です。CDでの貸出から他の方法に切り替える方は貸出担当にご連絡ください。メーリングリストの利用、サピエ図書館でのダウンロード方法についてはIT支援にご連絡ください。

寄贈資料のご案内

●次の資料が寄贈されました。貸出を希望される方は、貸出担当（TEL：043-424-2588）までお申し込みください。

- ・ 全日本鍼灸マッサージ師会 発行 『東洋療法 (361号)』 点字1冊
- ・ 千葉県文書館 製作
『千葉県文書館ミニ企画展リーフレット 弘法大師信仰と房総』 点字1冊・拡大文字1冊
- ・ 日本視覚障害者団体連合 発行 『点字日本 (631号)』 点字1冊
- ・ 日本放送協会 発行
『NHK テレビ放送番組時刻表 (総合・Eテレ) 2024年4月発行』 点字1冊・デイジー1枚
『NHK ラジオ放送番組時刻表 (ラジオ第1・第2・FM) 2024年4月発行』 点字1冊
- ・ 日本点字図書館 発行 『にっぽんデイジーマガジン (7月号)』 デイジー1枚

●次の資料は差し上げます。ただし部数に限りがあります。

- ・ 自由民主党 発行 『自由民主 (第113号)』 点字1冊
- ・ 政府広報 発行
『音声広報 CD 明日への声 (VOL. 97、98)』 一般CD1枚
『点字・拡大文字広報誌 ふれあいらしんばん (Vol. 97、98)』 点字1冊
- ・ 日本視覚障害者団体連合 発行 『厚生 (第303号)』 点字1冊

3. 新入図書を紹介

[番号、書名、著者名、冊数、原本出版者、出版年、解説の順に読みあげます。]

(点字図書)

<一般書>

- ① 「小さな私」の癒し方——幼少期の記憶で人生は9割決まる (masasa 著) 2冊

KADOKAWA 2023年6月

[一生懸命に頑張っても幸せを感じられない。自分ばかり、どうして…。トラブルに悩む主婦はある日、心理カウンセラーに出会い…。複数の実話を元に構成した物語と、物語中に出てくるワークのやり方や心の仕組みを解説する。]

- ② 大塩平八郎の乱——幕府を震撼させた武装蜂起の真相 (やぶた 貫 著) 5冊 中央公論新社

2022年12月

[江戸後期の大阪で、私塾の門弟らと「救民」を掲げて決起した大塩平八郎の真の目的は何だったのか。密かに江戸へ送った「建議書」で何を訴えようとしたのか。近年発見の史料もふまえ、幕府を震撼させた事件の全容に迫る。]

③ 幸福な退職——「その日」に向けた気持ちいい仕事術 (スージー 鈴木 著) 3冊 新潮社
2023年5月

[55歳を機に博報堂を退職した音楽評論家、スージー鈴木。激務で知られる広告業界で働きながら10を超える著作を発表できた仕事術とは？無駄なく無理なく機嫌よく働き、幸福に退職する方法を伝授する。]

④ 世界インフレの謎 (渡辺 努^{つとむ} 著) 4冊 講談社 2022年10月

[グローバルズムが反転しはじめ、物価と経済の在り方が激変する！そして、日本だけが苦しむ「2つの病」とは？物価理論の第一人者が世界インフレという難問に格闘しながら、その核心を徹底考察する。]

⑤ 視覚障害者の情報機器の活用に関する実態調査——報告書 (日本視覚障害者団体連合^{にほん} 編) 1冊
日本視覚障害者団体連合 2023年3月

[「視覚障害者の情報機器の活用に関する実態調査」に係る研究結果をとりまとめたもの。デイジー図書もあります。]

⑥ きしむ政治と科学——コロナ禍、尾身茂^{おみ しげる}氏との対話 (牧原 出^{いずる}、坂上 博^{さかがみ ひろし} 著) 4冊
中央公論新社 2023年7月

[尾身茂・新型コロナウイルス感染症対策分科会長への計12回、24時間以上にわたるインタビューを通じ、政治と科学のあるべき関係を模索する]

⑦ 悪習慣の罠 (山下 あきこ 著) 4冊 扶桑社 2023年7月

[酒、タバコ、インターネット、ギャンブル、恋愛…。なぜ、好き・楽しい・おいしいが病気になるのか？多くの患者を診察してきた専門医が、「悪習慣の罠」がもたらすことと向き合い、脱出するにはどうしたらいいのかを伝える。]

⑧ わっしょい！妊婦 (小野 美由紀 著) 3冊 CCCメディアハウス^{シーシーシー} 2023年7月

[35歳、明らかに“ママタイプ”ではない私に芽生えたのは「子どもを持ちたい」という欲望だった。夫45歳。子どもができるか、できたとしても無事に産めるか、産んだとしてマラソンのような子育てを夫婦で走りきれるのか！？]

⑨ 好きなことだけすれば子どもは伸びる (坪井 佳織 著) 2冊 みらいパブリッシング
2023年11月

[子どものありのままを見つめて、好きなことを応援していれば、子どもは勝手に伸びていく。音楽教室を主宰する著者が、1万人の親子から導き出した「生きる力」をつける育児法を綴る。]

⑩ 回転寿司からサカナが消える日 (小平^{おだいら} 桃郎^{ももお} 著) 2冊 扶桑社 2023年7月
[世界情勢の混乱で激変するサカナのロジスティクスと日本人の食卓。漁師の危険や苦労、加工工場の実態、サカナの保管や物流など、輸入水産物の現状についての問題点や課題をまとめる。]

⑪ 基礎英文解釈の技術100 (桑原^{くわはら} 信淑^{のぶよし}, 杉野^{すぎの} 隆^{たかし} 著) 8冊 桐原書店 2005年5月
[入試基礎レベルの文法を復習しながら、入試英文を読み解くために重要な100のテクニックを徹底解説し、集中的に学習します。]

<文学書>

⑫ 正欲 (朝井 リョウ 著) 7冊 新潮社 2023年5月
[生き延びるために、手を組みませんか。いびつで孤独な魂が奇跡のように巡り遭い…。共感を呼ぶ傑作か？目を背けたくなる問題作か？2023年映画化。]

⑬ ゴッドマザー (中村^{ひらく} 啓 著) 5冊 光文社 2018年8月
[元人気女優で、今は芸能事務所の社長を務める東堂美都子。所属女優が主演する映画の製作を進めていたある日、13人を殺害したとされる容疑者の弁護士から呼び出しがかかる。容疑者が美都子に話した衝撃の事実とは。]

⑭ 砂の王宮 (楡^{にれ} 周平^{しゅうへい} 著) 7冊 集英社 2018年3月
[戦後、復興へ向け活気に溢れる神戸の闇市で薬屋を営む塙^{はなわ} 太吉^{たきち}は、持ち前の商才を発揮し、流通業界最大の企業を造り上げる。だが、意図せず事件に巻き込まれ…。己の信念を遂行しようと駆け抜けた男の栄枯盛衰を描く。]

<児童書>

⑮ 金のかま 空を歩く象——仏典童話 (浄土真宗本願寺派仏教婦人会総連盟^{じょうどしんしゅうほんがんじはぶつきょうふじんかいそうれんめい} 編) 1冊
浄土真宗本願寺派仏教婦人会総連盟 2024年3月
[浄土真宗本願寺派仏教婦人会総連盟発行の機関紙『めぐみ』の中から、「金のかま」「空を歩く象」を収録。デイジー図書もあります。]

⑯ ソーリ! (濱野 京子 著) 2冊 くもん出版 2020年2月
[小学校1年生の七夕、「そうりだいじんになりたい」と書いた短冊をまわりの子たちに笑われてから、自分の夢や思ったことを口に出せなくなっていた照葉^{てるは}。5年生で学級委員になってしまった彼女は、皆から「ソーリ」とからかわれながらも本来持っていた正義感やリーダーシップを再び発揮しはじめる。]

- ⑰ フレディ・イエイツのとんでもなくキセキ的な冒険 (ピアソン ジェニー 著, ^{いわじょう}岩城 ^{よしひと}義人 訳)
4冊 岩崎書店 2021年6月

[事実というのがぼくのお気に入りだった。事実はいちど手に入れたら、なくなったりしないから。そんなぼくが、この夏、キセキとしかいえないような体験をすることになる。「父親」を探す旅に出た男の子3人組の夏の大冒険。]

- ⑱ かわいい子ランキング (ヤング ブリジット 著, ^{さんべ}三辺 律子 訳) 4冊 ほるぷ出版
2022年8月

[フォード中学8年生の生徒たちのスマートフォンにある朝「8年生かわいい子ランキング」が送られてきた。近年話題になっている「ルッキズム」を主題にしたYA小説。]

(点字絵本)

- ⑲ ネコのミーニャのおねえさんたち (加賀 ^{たお}多生 作) 1冊 文芸社 2023年3月

[小さな町で「赤ベル」の名前で親しまれているレストランで働くのは、おばあちゃん、おかあさん、メグおねえちゃん、エミおねえちゃんとネコのミーニャ。メグおねえちゃんとエミおねえちゃんには障がいがあります。でも工夫をして、それぞれの能力を生かした働き方をすれば、誰もが生き生きと暮らし、社会の役に立てるということを、やさしくさりげなく教えてくれる絵本です。]

- ⑳ ゆびたび——点図で楽しむ小旅行 (名古屋ライトハウス情報文化センター 点字出版事業部 編)
1冊 2024年3月

[「小旅行」をテーマにした、とある一日の物語です。触図を読むのが初めてな方でもお楽しみいただけるよう、シンプルで分かりやすい点図で表現し、誰もが「視覚を使わずに」お読みいただける一冊となっております。]

(音声デイジー図書)

<一般書>

- ① 誕生曜日占い——相性でわかるオシャレな生き方 (岡野 ^{たけし}猛 著) (8:13) 栄光出版社
1989年3月

[意外に知らないのは自分の誕生曜日です。7つの曜日にはそれぞれ、曜日が持つ霊力があり、その霊力を上手に活用した人だけが、幸運をつかめるのです。]

- ② 太平洋戦争への道 1931-1941 (半藤 一利, 加藤 陽子 著, 保阪 正康 編著)
(7:42) NHK出版 2021年7月

[昭和日本が犯した「最大の失敗」を検証し、学ぶべき教訓と令和日本が進む道を提言する。2017年の終戦の日にNHKラジオで放送された昭和史研究のスペシャリスト達の鼎談に、保阪正康の解説と図版・写真を加えて再構成。]

- ③ 視覚障害者の情報機器の活用に関する実態調査——報告書 (日本視覚障害者団体連合 編) (2:50)
日本視覚障害者団体連合 2023年3月

[「視覚障害者の情報機器の活用に関する実態調査」に係る研究結果をとりまとめたもの。
点字図書もあります。]

- ④ 世界を変えた実験と研究——歴史と失敗から学ぶ大発見のヒント (齋藤 勝裕 著) (6:35)
技術評論社 2022年9月

[人類は歴史上で直面してきた多くの課題を科学で解決しようと試みてきた。錬金術から最新の科学まで、失敗と成功を繰り返してきた科学の歴史を紐解き、多彩な実験と研究から生まれた成果とその原理をやさしく解説する。]

- ⑤ 家は生態系——あなたは20万種の生き物と暮らしている (ロブ・ダン 著, 今西 康子 訳)
(19:31) 白揚社 2021年2月

[玄関は「草原」、冷凍庫は「ツンドラ」、シャワーヘッドは「川」。生態学者が家を調べると、そこには様々な生き物がすみつき、複雑な生態系をつくりあげていた！暮らしや健康に大きな影響を与える一番身近な「自然」の話。]

- ⑥ 親父と猫——定年後に待っていた猫ライフ (Turri 著) (2:29) ハーパーコリンズ・ジャパン
2023年4月

[70歳で定年退職した父が、子猫を拾ってきた。黒猫“るる”と父親の出会い、それからの日々と著者が感じたこと、家族の反応、父親がどう変わったのかを綴るフォトエッセイ。]

<文学書>

- ⑦ 樋口一葉赤貧日記 (伊藤 氏貴 著) (10:15) 中央公論新社 2022年11月

[貧乏なのに、紙幣の顔。生まれは裕福、晩年は借金三昧。いくら稼ぎ、いくら借り、何を買ひ、何を思ったのか？金銭事情で読み解く、日本初の女性職業作家の新しい姿。]

- ⑧ ^{あいづつるがじょう} 会津鶴ヶ城——物語・日本の名城 (阿井 景子 著) (8:37) ^{せいびどう} 成美堂出版 1995年8月
 [会津戦争の悲劇は何であったのか？戊辰戦争で壮烈な戦いの舞台となった末、会津藩士の宿命に殉じた会津鶴ヶ城。そこには、今なお、朝敵の汚名を着せられた会津人の怨念がうずまいている。]
- ⑨ ツミデミック (一穂 ミチ 著) (6:41) 光文社 2023年11月
 [夜の街で客引きのバイトをしている青年。ある日、中学時代に死んだはずの同級生の名を名乗る女が現れ…。「違う羽の鳥」など、全6編の“犯罪”小説集。第171回直木賞受賞作。]
- ⑩ ^{そら} 宙わたる教室 (伊与原 新 著) (10:33) 文藝春秋 2023年10月
 [東京・新宿にある都立高校の定時制に集った、さまざまな事情を抱えた生徒たち。彼らは「科学部」を結成し、「火星のクレーター」を再現する実験を始め…。]
- ⑪ 東京都同情塔 (九段 理江 著) (4:30) 新潮社 2024年1月
 [寛容論が浸透したもう一つの日本で、新しい刑務所が建てられることに。犯罪者に寛容になれない建築家・^{まきなさら}牧名沙羅は、仕事と信条の乖離に苦悩しながら、パワフルに未来を追求し…。第170回芥川賞受賞作。]
- ⑫ ふしぎ遊戯外伝 7 ^{えいこうでん} 永光伝 上 (渡瀬 悠宇 原作, ^{にしぎき} 西崎 めぐみ 作) (4:26) 小学館
 2000年3月
 [^{みあか たか}美朱と^{さかきまよ}魏は結婚式の晩、本の世界での出来事を語り合う。この話を盗み聴きした16歳の^{さかきまよ}榊真夜は、中2から魏を想い続けてきた。「本の中に入ったのが私なら、私が魏と結ばれていたはず・・・」という思いで胸がいっぱいになった真夜は、ボロボロになった四神天地書の中に入ることに成功。だが、真夜が降り立った^{こうなんこく}紅南国は廃墟と化していた！？]
- ⑬ ふしぎ遊戯外伝 8 ^{えいこうでん} 永光伝 下 (渡瀬 悠宇 原作, ^{にしぎき} 西崎 めぐみ 作) (5:03) 小学館
 2000年4月
 [倒壊寸前の紅南国と意識不明となった^{すくなみみあか}宿南美朱を救うため、^{たか}魏、翼宿、井宿は残りの七星士を探す旅に出た。]
- ⑭ 優等生サバイバル——青春を生き抜く13の法則 (ファン・ヨンミ 作, キム・イネ 訳) (5:35)
 評論社 2023年7月
 [大学進学実績で有名な進学校に入学したジュノ。テスト、課題、進路、SNS、恋…。やらなきゃいけないこと、考えなきゃいけないことは満載！ハードな高校生活を生き抜くために、“優等生”のジュノが見つけた法則とは？]

<児童書>

- ⑮ 私の職場はサバンナです！ (太田 ゆか 著) (5:52) 河出書房新社 2023年5月
[肉食動物の想像を超えたサバイバル、サバンナを支える縁の下の力持ち…。南アフリカ政府公認の日本人女性サファリガイドが、サバンナの動物たちの生態や、環境保護の最前線、人と自然が共生するために大切なことを伝える。]
- ⑯ ルルとララのカップケーキ——^{メーブル}Maple^{ストリート}street (あんびる やすこ 作) (0:42)
岩崎書店 2005年4月
[メーブル通りに新しくお菓子屋さんがオープン！ 店長は小学生の女の子、ルルとララです。でもなかなかお客さんが来ません。困った2人はお隣のシュガーおばさんに相談しますが…。簡単レシピがもりだくさんの、楽しいお話。]
- ⑰ 金のかま 空を歩く象——仏典童話 (浄土真宗本願寺派仏教婦人会総連盟 編) (00:08)
浄土真宗本願寺派仏教婦人会総連盟 2024年3月
[浄土真宗本願寺派仏教婦人会総連盟発行の機関紙『めぐみ』の中から、「金のかま」「空を歩く象」を収録。点字図書もあります。]
- ⑱ クレヨン王国の十二か月 (福永 ^{ふくなが} 令三 ^{れいぞう} 著) (5:23) 講談社 1980年11月
[四十年以上を経て立ち返る、傑作ファンタジーの原点。]
- ⑲ じゅげむの夏 (最上 ^{もがみ} 一平 ^{いっぺい} 作) (1:38) 佼成出版社 2023年7月
[4年生の夏休みにやりたいことを宣言した、筋ジストロフィーの親友、かっちゃん。その願いを叶えてあげたくて、ぼくらは綿密に計画を練ったのだけれど…。いのちを謳歌する少年たちの姿をみずみずしく描く。]
- ⑳ いつかの約束 ^{せんきゅうひやくよんじゅうご}1945 (山本 悦子 作) (1:51) 岩崎書店 2023年6月
[ゆきなとみくは、自分は9歳だと言うおばあさんに出会い、共に一日町を歩き回ることに。後日、ふたりは意外な場所で彼女と再会し…。いっしょに町を歩き、語り合った、忘れられない夏の一日を描く。]
- 21 希望のひとしづく (キース・カラブレーゼ 著, ^{だいた}代田 ^{あかこ} 亜香子 訳) (7:18) 理論社
2023年6月
[この町で、ふしぎなことが起きている。古い井戸がいきなり、願いをかなえてくれるようになった。理由を知っているのは、3人の中学生だけで…。世界のかたすみからおくる愛と希望の物語。]

4. おすすめ図書の紹介

『The Songlines』(竹沢 うるま 著) 小学館 2015年

旅した期間、1021日。訪れた国、103カ国。アメリカからスタートし、中米、南米、中東、アフリカ、ヨーロッパ、アジアと世界をぐるりと旅した写真家・竹沢うるま氏の旅行記。

アマゾン奥地で受けたシャーマンの儀式。中東ではスパイと疑われ、アフリカでは銃口を向けられ。アジアに入り、日本が近づいてくる中での心境。

3年近くに及ぶ旅の中で起きた様々な出来事やその体験の中で感じたことが丹念に描かれていて、自分も一緒に旅をした気分になれる一冊です。

(豊田)